

令和4年度第1回可児市多文化共生推進会議 議事要点録

1. 開催日時 令和4年7月14日(木) 18時00分～19時30分

2. 開催場所 可児市多文化共生センター(フレビア) 研修室

3. 出席者(11名)

(1) 委員

近藤 敦 (Zoomで参加)	坂江レアンドロユウキ	浜口 旭波	渡辺 武
兼松 香代美	各務 眞弓	奥村 幸彦	佐野 朝子
藤村 祐子	真野 純次	土田 絵里子	

(2) 事務局

人づくり課長	若尾 真理	
人権・国際係長	近藤 智子	
人権・国際係	加藤 エジソン	梅村 萌

4. 内 容

(1) 開会

(2) 人づくり課長挨拶

(3) 委員長挨拶

(4) 自己紹介(土田 絵里子委員、真野 純次委員)

(5) 議題

1. 2022年可児市外国籍市民意識調査について(資料番号1・2・3・4)

事務局) 資料1・2・3・4について説明。

委員長) ご質問や意見はありますか。

委員A) 国籍別の市民調査をしたいという意図は充分理解できるが、やはり外国籍市民という言い方になにか違和感を覚えてしまうので、この言い方を変えるということとはご検討いただけないか。

事務局) 今の多文化共生推進計画の中で、「外国籍市民という言葉を使う」と統一した経緯があり、今回はこの計画中の意識調査なので、外国籍市民という言い方を使う。来年度計画を見直すので、その席で表現の仕方などまた皆さんとご相談できればと思う。

委員B) 回収率が12.9%というのは、どの程度のものなのか。説明があったように政策に今後はどう展開していくのか。ネットでの回答も実施するというところで、とても尽

かしていただいた。回収率が3割くらいまでに上がればいいなと思う。

委員 C) 2018 年度の意識調査の結果報告書に書いてあるように、市役所の窓口やフレビア、教会での回収率がとても高い。無作為で 2,000 人に配布しているが、大きな企業を通して、そこを窓口にして行えば、回収率が上がるのではないか。郵送で送って返すというのはとても手間だが、いつも行っている教会などには、顔も知っているし持って行きやすい。フレビアにも知っている人が多いから持って行きやすいのではないか。

委員長) 他にはあるか。

委員 D) ベトナム語の調査票はあるのか。

事務局) 資料に、ベトナム語を入れるのを忘れていた。

委員長) フィリピン、ブラジル、ベトナム、中国、韓国・朝鮮、ペルーまでは、標本数を用いて、あとの配布数は、それ以外の国から選ぶという形にするとよいのではないか。入管庁も標本数を使って人口比の割合を確保したうえで、無作為抽出の調査をしている。回収率を上げるために、他の自治体では、クオカードやアマゾンのポイントをつけるなどしていた。さらに、「施策を考えるうえでこのアンケートはとても重要で、反映させた施策に取り組みたいと考えますので、ぜひご回答ください」などやさしい日本語での呼び掛け文を工夫して多言語で説明することも一つの工夫だと思う。

委員 E) 私の保育園ではアンケートのお手紙を頻繁に入れていく。日本のルールを知っていただくためや、きちんと登園させるために行っている。手紙を出すと回収率は 8 割から 9 割。学校や幼稚園関係などのお手紙は比較的返ってくる。月曜日に必ずメッセージで登校下校時刻の翻訳をして送る。保護者は学校からのお手紙はとても気になっていると思う。企業を活用するのも一つの手だと思うし、年齢的にも幅広い分野で色々なところを活用してアンケートをとり、回収率も上げ、費用対効果を考えるとよい。

委員長) 無作為抽出をやめるのか、無作為抽出した上で該当者の企業や学校に配りアプローチをしてもらうのか。企業に配った調査票の数は、配布数を定めて配布したのか。

委員 A) 学校や企業に配ってやるのならば、無作為のやり方ではなくなるのではないか。無作為の調査数を前もって決めておかないといけないのでは、と思う。

委員長) 2018 年度の調査は無作為調査ではない調査数はわかるのだろうか。

事務局) はっきりとは覚えていないが、市内の派遣業者や教会に配ったことは覚えている。

委員長) 目標があったのか。

事務局) 目標はなかったが、教会だと信者の数、派遣会社だと派遣事業者の数を教えてもらいその人数分配布した。

委員長) 数を定めずに、無作為以外の人で回収できたものは集計にいれておくように。ある程度余裕をもって用意しておくのはどうか。

委員 A) 印刷はしなくても、二次元コードを貼っておけばいいと思う。学校や企業に配ってもらえばいいのではないかと。また、多言語情報誌や、フレビアのフェイスブックやホームページで周知すればどうか。

委員 D) 意識調査の目的や説明の簡単な動画を配信すればどうか。市役所の SNS やフレビアの SNS でシェアするのはどうか。

委員 A) そうですね、さらに市民の皆さんにシェアしてもらうのがいいのではないかと。

委員 F) 回答した人が何回も回答してしまうのではないかと。企業やフレビアによく来る人が回答をしてしまうのではないかと。

委員長) 何度も二次元コードから回答してしまう人がいないようにメールアドレスなど入力できないのか。

委員 A) 最初にメールアドレスを入れて、回答は 1 回ということを明記すればいいのではないかと。

委員長) 複数アドレスを持っている人がいても、回収できるものは回収するというところでよろしいかと。事務局はどうお考えですか。

事務局) はい、そのように回収したい。事務局としては、派遣会社や学校、教会など 2018 年の調査より回収率を上回りたいと思う。前は、郵送と自力で集めた数と同じくらいなので、今回は自力で集めた回答数に二次元コードでの回答数も入れて回収率をあげようと思う。

委員長) やり方の細かい事はお任せするという事で、方針はこのようでもいいですか。他に何かあるか。

委員 C) 設問の中に、新型コロナウイルスに関する設問をいれるのはどうか。差別を受けていたりする可能性もあるのでいれたらどうか。

委員長) 新型コロナウイルスに関連する問を最後に追加しましょう。いくつかの選択肢をあげて1問作成するか、何問も新型コロナウイルスに関する質問を作成するかどうするか。事務局で、新型コロナウイルスに関する設問を作成していただいて、メール審議で確定するというのはどうか。

委員C) 生活困難な状況だということを知る必要があると思う。

委員長) 「可児市の生活に満足していますか」の問の前に入れてもいい、医療・保険の設問に追加してもいいとは思ふ。10個程度困っていることを書いてそれを選んでくださいという設問でいいですかね。

委員C) 大きな枠にして書いてもらうのがいいかもしれない。

委員長) 問49下の自由意見のような枠を作るのはどうでしょうか。

事務局) 自由記述も大事ですけど、簡単に答えてもらうということも必要だと思うので、「その他」と「特になし」といれるとバランスが取れると思うが、どうか。

委員長) では、事務局のほうで再度設問を考えていただいて、私とメールでやり取りの後、一つの原案を作成し、皆さんにメールでお送りして、何かあれば表現を変えたり反映してメールで確定しようと思うがよろしいか。

## 2. 意見交流

委員長) 意見交換ということで、自由に発言をお願いします。

委員A) 外国籍市民意識調査をやるということで、岐阜医療大学から質問を入れてほしいという相談があった。これ以上設問を増やしても答える意欲が低下してしまうということもあり、一応皆さんに報告をしますが質問したい内容は主に薬についてで、新型コロナウイルスに関連するもの。大学独自で二次元コードでの調査を作って調査を行ったらどうかと申し伝えたが、会議に諮ってほしいとのことでした。

委員G) あまりにも設問が多すぎると答えたくなくなる。回答率を上げようと思うとスリムにしたほうが上がると思う。新型コロナウイルス関連の設問をいれるのはいいと思うが、今ある設問にうまく取り入れる形で設問数をなるべく減らしたほうがアンケートとしてはいいものができるのではないか。行政にお聞きしたいが、回答率の目標はどのくらいか。

事務局) 3割を目標とする。

委員長) 何か減らしてもいい設問はありますか。

委員 A) 目的として経年比較というのがあるのだとしたら、外さないものはあってもいいと思う。新しいものを加えれば、時代に合ったアンケートになるとは思いますが、比較してみようと思ったら同じでいいかなと思う。アンケートの回収率をあげるというのは、他の自治体でも課題になっている。他の委員さんが言われたように、動画で周知するのはとてもいいと思う。

委員長) 可能であれば、回答するとき「何%終わりました」という機能を入れたほうが、回答するとき最後まで諦めずに回答しようと思う効果があるらしいので、いれたらどうか。SNS は1つではなくて、出身国によって違うのでフェイスブックだけではなく、複数の SNS を使うといいと思う。

委員 D) 設問を増やすというより、何かあればこちらに書いてくださいという方法もあると思う。外国籍市民が言いたいことなど他に意見が聞けると思う。

委員長) 新型コロナウイルスのことは、特に作成しないということでもいいですかね。回収率を上げるためにも。どうでしょうか。

委員 H) 問 26 の「あなたは日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていることはありますか」の選択肢として新型コロナウイルスのことを入れるのはどうでしょうか。

委員長) では、そうしましょう。選択肢 13 に新型コロナウイルスの事を追加して、「その他」を選択肢 14 にする。「特にない」という選択肢を 15 にすれば一行空いているのをちょうど埋めることもできます。このような形で新型コロナウイルスの事をいれましょう。

委員 I) 回収率の話がでていて、回収率は二次元コードにすると上がると思うのですが、どのようにスマートフォンに出てくるのかなと思う。最初にも設問数を書いたり、何パーセントというバーがあったりすれば回答率が上がると思う。他の委員さんが言われたように、なぜこの調査をするのかというのを分かりやすく表示していると、「この調査に答えると自分達の暮らしがよくなるのだ。」と伝わり回答しようと思えるのではないか。学校の生徒の保護者が、困りごとがあっても懇談がしたくても通訳さんがいなくて、懇談ができない。2日、3日後にしかできないということがある。緊急なことでも懇談できない、ということで急遽市役所にこられた方もいらっしやる。なんとかしたいが予算の関係と色々あるのでできることを考えたいと思う。

委員長) 今可児市として、通訳を学校に派遣できる制度はあるのか。その言語は何語なら対応しているのか。ポルトガル語、フィリピン語以外であるか。

委員 F) ベトナム語も中国語も対応している。

委員長) 学校の懇談でも対応できるのか。

委員 F) 学校の通訳さんの勤務状態とか他の学校との兼ね合いだとかでできるとは思う。できるように調整していると思う。

委員 D) 全体的に通訳の人数が足りていない。

委員 A) フレビアで通訳の研修を企画していて、日本の学校を卒業していて通訳になったけれども、母語が弱く色々なプレッシャーがあり続けられないとか、本人はすごく悩みながらやっていたりする人がいるので、研修を企画した。ポルトガル語でしたら、今年ジャイカの研修員がきているので事前に言っていただけたらご協力できると思う。もし本当に通訳がいなくてということであれば相談してほしい。

委員長) それでは、議事を終了する。新型コロナウイルスに関しては選択肢として入れていただく。呼び掛け文は私とメールで確認し、その後決定するというところでよろしいか。では、議題として設定した分は以上とする。

(7) その他

#### 1. 今後のスケジュール

事務局) 可児市外国籍市民会議について報告

事務局) 今後のスケジュールについて説明

委員長) 外国籍市民会議については議事録ホームページにあげているのか。

事務局) この会議は自由に意見を聞くというところから、議事録はホームページには掲載していない。

19時30分 閉会